

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	その他		
科 目 名	自動車検査		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期	・ 金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	15. 2時限（期末試験を除く）		
担当教員名	吉田 哲也		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における自動車検査業務の経験を活かし、自動車検査及び検査用機器取扱いについての実習を実施する。		
授業の目的	自動車検査用機械機器の構造、取り扱い、保守管理方法について実習する。		
テキスト	自動車検査用機械器具の構造と取り扱い（日本自動車機械工具協会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回～第2回	自動車検査用機械機器	自動車検査用機械機器の構造、取扱い、保守管理、検査基準、判定	P9～P89 P103～P110
	期末試験	第1回～第2回までの授業内容に関する実技試験	
到達目標	自動車検査用機械機器の構造、取り扱い、保守管理を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		

<p>成績評価基準</p>	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80%</p> <p>平常点 20%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。</p> <p>70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点=良とする。</p>
<p>成績評価できない場合の基準</p>	<p>全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。</p>